

＜別紙 1＞記入上の留意点

「埼玉県家庭教育アドバイザー」登録更新及び活動報告書について ※ 登録の更新に必要ですので、必ず提出してください。

1 名簿登録事項（※全員ご記入ください。）

- ・ 氏名・電話番号（自宅・携帯）・FAX番号を記入してください。
- ・ 「埼玉県家庭教育アドバイザー」に登録した時の住所や電話番号等一部でも変更になった方は、「変更有り」に○を付けてください。
- ・ メールアドレス（パソコン・携帯電話）を所有している方は、必ず御記入下さい。
- ・ 住所は、変更がある場合のみ、御記入下さい。
- ・ この欄に記入された内容は、県内全ての市町村家庭教育担当課へ配布する令和4年度「埼玉県家庭教育アドバイザー」名簿に掲載されます。

2 登録更新（アドバイザー登録の有効期限が令和4年3月31日の方のみ）

- ・ 「埼玉県家庭教育アドバイザー」証明書の有効期限が令和4年3月31日ではない方は、記入の必要はありません。
- ・ 「埼玉県家庭教育アドバイザー」証明書の有効期限が令和4年3月31日の方は、「更新します」「更新しません」のいずれかに○を付けてください。
- ・ 登録を更新する方には、新しい証明書を発行します。返信用の封筒に住所・氏名を記載し、切手を貼って2月末日までに生涯学習推進課へ送付してください。

郵送先

〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1

県教育局生涯学習推進課
家庭教育支援担当 宛

- ・ 「埼玉県家庭教育アドバイザー」証明書の有効期限が令和4年3月31日の方が登録を更新すると、証明書の有効期限を3年間延長することができます。
- ※「埼玉県家庭教育アドバイザー」の人材情報の登録及び活用に関する要領の改訂により、有効期限3年間の中で「更新前の当該登録期間内にフォローアップ研修又は「親の学習」プログラム集活用実践研修会の参加が一度もない場合は、更新することができませんので、予めご承知おきください。
- ・ 「更新しません」に○を付けた方は、（ ）にその理由を記入してください。

＜別紙2＞記入上の留意点

1 今後の活動

- ・ 更新を希望しない方は、記入の必要はありません。
- ・ この欄に記入された内容は、県内全ての市町村家庭教育担当課へ配布する令和4年度「埼玉県家庭教育アドバイザー」名簿に掲載されます。学校や公民館等の主催者の要望に合わせてアドバイザーを派遣する基礎資料とするとともに今後の家庭教育支援事業における各活動の専門性を高める研修を優先的に御案内するために把握をさせていただきます。活動できるものや挑戦したいもの全てに○を御記入下さい。
- ・ 主な活動内容は、以下のとおりです。

<p>「親の学習」講座</p>		<p>親の学習プログラム集活用実践研修会と同様、学校や公民館等に集う保護者や児童生徒を対象に「親の学習」講座を実施し、親が親として育ち力をつけるための学びと親になるための学びを行います。</p>
<p>「親子ふれあい活動」</p>		<p>企業や公民館等で乳幼児とその保護者を対象に手遊び歌、わらべ歌、読み聞かせ等を通じて、親子のスキンシップの回り方を教えます。</p>
<p>「赤ちゃんふれあい体験」</p>		<p>中高生を対象に学校で乳幼児とふれあい体験をします。乳幼児の保護者から子育ての大変さや楽しさを引き出し、生徒が、命の大切さや近い将来の親になるための学びを推進します。</p>

※こうした活動に加え、活動中、活動後にも個別の相談にも対応しています。

2 活動報告

- ・ 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの予定も含めた活動の回数を記入してください。
- ・ 「親の学習」とは、中学生・高校生を対象とした「親になるための学習」及び、親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」のことです。
- ・ 「親の学習」プログラムを参考又は活用し、「親の学習」講座を実施した方は、別紙2にも記入をお願いします。

3 「親の学習」講座実施報告書について

(1) 実施日を記入してください

(例) 10/15

(2) 実施市町村名と実施場所を記入してください

(例) さいたま市立〇〇小学校 ・ 熊谷市立〇〇公民館

(3) 実施機会と対象者を記入してください

(例) 就学時健診(新入学保護者) ・ 家庭教育学級(乳幼児の保護者)

(4) 種別の「子」「親」のいずれかに○を付けてください

「子」 中学生・高校生を対象とした「親になるための学習」を実施した場合

「親」 親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」を実施した場合

(5) 実施したプログラム番号を記入してください

(例) 3-③「親の学習」プログラム集(増補版も含む)の場合

A-3「家庭学習支援プログラム集」の場合

一部の活用も含まれます。複数の場合は全て記入してください。(例) 4-②と2-①

(6) 参加者数を記入してください

できるだけ正確な参加者数を記入してください。

正確な参加者数を把握できない場合は、概数を記入してください。(例) 約50人

(7) 複数で指導した場合は本人以外の指導者の名前を全員記入してください

1人で指導した場合は、「なし」と記入してください。

(8) 県から報償費が支払われた場合は「有」に○を付けてください

(9) 「親の学習」を12回以上実施した方は、裏面に記入してください

裏面にも記入した場合、FAXでの送信時には、必ず両面とも送信してください。